
ふたえ

EAST

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ふたえ

【著者名】

ZZマーク

N5550A

【作者名】

EAST

【あらすじ】

自分の顔にコンプレックスをもつた高校生の日常のお話

小さな頃から小さな目だった。少女マンガに出てくる女の子みたいになりたくてずっとずっと憧れていた二重。

いろいろやってみたけど、手取り早いのは整形。そんなお金もないし勇氣もないからずっと家にこもって研究に励む。ステイックのりを塗つてみたり、市販のテープを貼り付けてみたり・・・。拳句の果てには、まぶたを洗濯ばさみではさんで寝てみた。

翌朝、お姉さんのように真っ赤に腫れていた。
ショック。

「あんた、何してんの？」
心配そうに向うの母を押しのけ、せつと学校に向ひ。
(もう、どうにでもなれ)

「あんたーどうしたの?」
「寝不足・・・」

学校でごまかすのは難しい。だって、みんな経験したことだから、バレバレなのだ。

別に可愛くなつて、モテたくて、一重にするんじゃないもん。
と思いつつ、つい憧れの隆君が気になつてならない。
(どんな娘好きなのかな・・・)

バイクのイケメン先輩山田さんにも一重の情報を聞く始末。もう私を誰も止められない。

「えっ、君はそのまで十分かわいいよ。へたにイジつたら、違和感あつておかしいよ」

「そうですかね。でも、みんな一重の人多いじゃないですか。一重は損ですよ。」

「そんなことないよ。君は誰かに気に入つてもらいたくて、そんなこと考えているの？」

すらつと背の高い山田さんは、しつこに私に嫌気が差しているようだ。

「そんな事ばっかり考えてる暇があつたら、少しは仕事に力いれてね。」

「はーい。」

翌日、学校で事件があつた。

「お前、隆に好かれてんの知つてる~？」

「えつ、何それ。何言つてんの？」

クラスでお調子者の亀ちゃんが、突然話しかけてきた。

クラスメイトの動きが止まる。

「へえー、知らないや。そつな。ふーん。あたしには興味ないけどねえ。」

思いもしないことを口走る。まずい。かなり動搖してる。

ここに、アクション起こしたら、きっと冷やかされる。それだけは嫌だ。でも、でも！

もし亀ちゃんの言つことが本当なら、大変なことだ。

心の動搖を隠せないまま、バイト先に向かつた。

「今日は、何か元氣いいね。いいことあつたの？」

「いえ、それが、いやいいんです。」

「何、ニヤニヤしてんの？」

「いやそれが、あの山田さんは両思いになつたことがあります？私はまだ確定ではないんですけど。」

「・・・ない。わかんない。俺も確認しないとわかんない。けど、君の浮かれようじや、残念ながら、無理かもね。」

「えつ？どういう意味ですか？」

「俺は一重でも大好きだよ。つていうか、一重じゃなきゃ嫌だな。」

ちよつとまつて。これって告白られてんの？

想定外だあ。

その日は疲れなかつた。隆君と両思いかもしれないところによつても、もつとドキドキすることが現れた。

嫌われるんじゃないかつて、ずっと隆君の顔色をうががつてきたのに。隆君の好きな色に染まりたいと思つていたのに。気持ちを素直に言つのは難しいことだ。なのに、山田さんとは何でも話せる。

動搖しているのは告白されたからだきっと。

でも、隆君が私に好意を持つていてわかつた時よりも、ずっと懐かしいあたたかな気持ちにさせてくれる山田さんの一言に惹かれずにはいられない。

翌日学校で、隆君から告白された。

「誰か好きな人いる？」

「・・・いる。ごめんね。」

「昔前の私だつたら心の底から彼を受け入れていたに違いない。でも今は隆君じやだめなんだ。」

バイク先で無口な山田さんに声をかけた。

「両思いになつてくれませんか？」

いつの間にか自分の目が大好きになつていた。

私の二重日記おしまい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5550a/>

ふたえ

2010年11月9日05時36分発行